



ワクチン接種後の副反応について

(令和3年5月20日現在)

新型コロナワクチン接種後には、接種当日または接種翌日から裏面の副反応が高い確率で出現することが報告されています。

◇ワクチン接種後のお願い

- ① 呼吸困難など重い症状が出る場合はすぐに医療機関を受診してください。
- ② その他の副反応の症状の場合は、焦らずに休息をとってください。また、ワクチンの副反応であることをご理解いただき、症状が出ても安易に医療機関へ連絡することは控えてください。(通常診療に影響が出るため)

※医療機関への連絡の目安

症状が2日以上継続する場合、裏面の相談窓口にご相談ください。

- ③ ワクチン接種後(特に2回目接種)は、発熱・頭痛・倦怠感などの全身症状の副反応が出る確率が高いです。

あらかじめ接種翌日に大事なイベントを入れない、仕事を休むなど

予定の調整を行うことをおすすめします。

副反応の頻度や年代ごとの割合について、厚生労働省『新型コロナワクチンの接種後の健康状況調査』をご参照ください。(下記のQRコードからご覧いただけます)



◇コロナワクチン接種後の副反応の出現率



症状		1回目接種	2回目接種
接種 部位	接種部位の痛み (痛みで肩が上がらない等)	約90%	
	接種部位の他の症状 (発赤、腫脹、かゆみなど)	約数%～16%	
全身	発熱(37.5℃以上)	数%	約40%
症状	倦怠感(身体がだるい)	約15%	約70%
	頭痛	約10%	約50%

【厚生労働省：健康観察日誌集計の中間報告(4月30日)を引用】

※新型コロナウイルス感染症の症状として報告されている咳・息切れ等の呼吸器症状や味覚・嗅覚障害などの症状は副反応としてほとんど報告されていません。

※上記のような症状は一時的によく起きる副反応であるため、予防接種法に基づく救済制度には該当しません。ご理解ください。

◇相談窓口

2日以上発熱が続く場合や、症状が重い場合は下記の相談窓口にご相談ください。

- ① 新潟県：新型コロナワクチン医療健康相談窓口
025-385-7762 (【毎日】8:30～18:00)
- ② 厚生労働省：新型コロナワクチンコールセンター
0120-761770 (【毎日】9:00～21:00)